

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	福知山成美高等学校
所在地	京都府福知山市字堀3471-1
電話番号	0773-22-6224

<p>(1)</p> <p>建学の精神</p>	<p>美しい全人格の育成（真・善・美）</p>																																							
<p>(2)</p> <p>本校の特色及び将来展望</p>	<p>コース制をとり、生徒のニーズと進路の実現にきめ細かく対応している。大学進学では府北部ではトップクラスの実績を上げている。部活動においても男子野球部・女子野球部・ソフトテニス部・卓球部など全国レベルの部を擁する。現在すべての生徒の基礎学力の伸長を目指し、希望の進路実現に向けて、コミュニケーション能力養成を意識した授業研究・開発に取り組んでいる。またコースごとの実情に応じた探求学習にも力を入れており、ネイティブ教師の積極的導入や留学生の幅広い受け入れを通じ国際教育にも取り組んでいる。</p>																																							
<p>(3)</p> <p>・令和7年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり なし</p> <p>・前回改定</p> <p>年度</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2">【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>考査料</td> </tr> <tr> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>576,000</td> <td>36,000</td> <td>612,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【2年生】</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>440,000</td> <td>100,000</td> <td colspan="2">540,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【3年生】</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>440,000</td> <td>100,000</td> <td colspan="2">540,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料	50,000	50,000	576,000	36,000	612,000	20,000	【2年生】	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				440,000	100,000	540,000				【3年生】	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				440,000	100,000	540,000			
【1年生】	入学金		施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料																																	
	50,000	50,000	576,000	36,000	612,000	20,000																																		
【2年生】	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																					
	440,000	100,000	540,000																																					
【3年生】	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																					
	440,000	100,000	540,000																																					
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>少子化による就学人口の減少など生徒確保が大変厳しい状況の中であるが、私立高校として望まれる特色のある人材育成に努めていきたい。また、社会的な変動による納付金はやむを得ないものと考え、保護者負担を軽減していくことも私学教育機関の使命であるにとらえている。納付金の収入は施設等の改善・拡充により生徒の教育環境の充実のために支出していく所存である。</p>																																							
<p>教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>教育・入試改革を見据えICT化をサポートする学校向けプラットフォームを採用し、教育の充実を図っている。また、生徒1人につき1台のタブレットを導入し授業の効率性の向上を目指すとともに、生徒1人1人の能力に応じた学習環境の整備に努めている。施設設備については、生徒の安全性を確保することが基本的な条件と考えており、平成30年に普通教室棟の耐震改修工事やクラブ施設の安全対策、一部教室のLED照明化、令和元年度より教室の空調設備の更新、令和3年度には普通教室棟のトイレ改修(乾式・洋式化)校内Wi-fiの充実、令和5年度には普通教室棟の消防消火設備の改修を実施。令和6年度は現在第一グラウンドを大規模改修中である。今後も安心安全な教育施設を基本とし、経営状況を鑑みながら老朽施設の改修を図るなど生徒の満足度を高め、生徒募集効果を高めたいと考える。</p>																																							
<p>(5)</p> <p>令和7年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>国の就学支援金制度及び京都府あんしん修学支援制度とは別に学校独自の制度を設置している。更に、推薦入試を利用して入学する場合や兄弟姉妹が在籍している場合は入学金を免除する制度も設置している。</p>																																							
<p>(6)</p> <p>今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>大変厳しい状況ではあるが、これまで以上に財政体制を改善し、経営努力を図っていきたい。</p>																																							